

令和2年度新人大会西部地区予選 ロービングアンパイア（RU）の動き

基本的な動き

- ①少なくとも3～4面に1人、RUに割り当て、45分～1時間のローテーションを組む。
- ②割り当てられたコート付近にイスを置いて座るか、コート付近を巡回しながらコート内を観察する

試合開始前

- ・選手がコートに来たら
 - (1) 試合結果報告書をもとに選手名を確認する
 - (2) 試合開始時刻、トスの結果を報告書に記録する。報告書はバインダーへ
 - (3) 試合形式はすべて1セットマッチ。6ゲームスオール後はタイブレーク
- ・選手がコートに来ない場合、時間を計測する
 - (1) 1名（ペア）だけ来ない場合、1度コート付近で呼び出す
→ 15分経っても来ない場合、本部に連絡し失格とする
 - (2) 誰も来ない場合、本部に空きコートか確認する
→ 空きコートでなく、15分経っても両選手とも来ない場合、両者失格とする

試合中

- ・選手がもめていたら事情を聞き、ルール問題および事実問題について判定する

【よくある事例】

- ①サーブする人、サイド、プレーするエンドを間違えた
→ 終わったポイントは成立する。直ちに間違いを訂正し、スコアに応じた形で再開する
※ 間違ったまま1ゲーム以上プレーをしていた場合、処理が煩雑なので審判部へ確認
 - ②カウントがわからなくなった
→ セルフジャッジマニュアル（3）を参照
 - ③ジャッジに関してもめている
→ クレーコートの場合はBMIを行う（RUマニュアル3を参照）
→ クレーコート以外の場合は、RUマニュアル1（9）を参照
- ・コード オブ コンダクトの違反がないか観察する（RUマニュアル4を参照）
 - ・妨害がないか観察する。妨害があった場合、ペナルティ（RUマニュアル4を参照）を科す。

【よくある妨害】

- ①レシーバーがファーストサービスとセカンドサービスの間に声を出す
- ②グッドであるにも関わらず、アウトと伝わるような声やジェスチャーを出している
- ③ダブルスで、レシーバーのパートナーが不必要にサービスのコースに侵入する

試合終了後

- ・両選手に最終スコアを確認する
- ・試合結果報告書へ最終スコア、勝者氏名に大きく○、試合終了時刻、RUサインを記入する
- ・試合結果報告書を勝者へ渡し、本部へ報告させる